

市長との対話集会開催記録

団体名	北名古屋市手をつなぐ育成会	実施日	令和6年6月10日（月）
実施場所	北名古屋市総合体育館 研修室	参加人数	20名

【主な内容】

知的障害者の防災

～誰もが安心して暮らせる北名古屋市を目指して～



【対話内容（抜粋）】



参加者

福祉避難所の設置と運営について教えてください。知的障害者の親の多くは避難所には期待できないと諦めています。なぜなら、被災後にまず指定避難所に行くようにとありますが、一般の避難所での生活には適応できず支障が生じるだろうと予測しているからです。

北名古屋市では、7か所の福祉避難所があります。ただし、まずは命を優先して、一般避難所（小学校の体育館）へ行っていただきます。数日経過すると、すべきことの優先順位が把握できてくるので、そこから福祉避難所へ移動していただけるように考えています。

要支援の方はあらかじめ避難行動要支援者名簿に登録していただくことが重要です。



市長



参加者

個別避難計画の作成は自治体が中心となっていますが、障害者を災害時に支援につなぐには基幹相談支援センター、地域相談支援センター、計画相談が連携し、障害者自身も理解できる個別支援計画が必要と思われます。

地域の相談センター等と相談しながら、個別避難計画を策定することで障害をお持ちの方や支援の必要な高齢者にも支援の輪が広がり、共助に繋がるものだと認識しています。今後は、社会福祉協議会にある基幹相談センター等に働きかけて支援体制を整えていきたいと考えています。



市長

大切なことは、周りの人たちに特性があることを理解してもらうような関係を作ること、できる限り自治会の活動やイベントに積極的に参加をしていただきたいと思います。



市長